

2014年7月10日

2020年の年間CO₂排出量の6倍を、省エネ・創エネ製品で削減

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、省エネ・創エネ製品を通じて得られるCO₂削減効果について、2020年にAGCグループにおける年間CO₂排出量の6倍まで拡大させることを目指します。

ガラス産業は、エネルギー多消費型産業です。AGCグループでは、自らの事業活動の環境負荷を真摯に受け止め、生産プロセスの改善による負荷の削減を進めるとともに、それ以上の環境貢献を果たすため、省エネ・創エネに貢献する製品の開発・供給・普及に努めています。

この取組みを加速させるために、以下のスローガンを制定しました。

AGCグループ CO₂排出量削減スローガン

**AGCグループは、
2020年に年間CO₂排出量の6倍を、省エネ・創エネ製品で削減することを目指します。**

2020年におけるAGCグループの年間CO₂排出量は、約1,300万トン（注1）を見込んでおり、これに対し省エネ・創エネ製品によるCO₂削減目標は、この6倍にあたる8,000万トン（注2）を予定しています。これは、一般家庭約1,600万世帯分（注3）の年間CO₂排出量、または最新のLNG火力発電所約30基分に相当します。

なお、AGCは、2020年には売上高に占める、省エネ・創エネ製品を含む環境関連製品の比率を30%に高めることを目標としています。

AGCは、技術開発による生産プロセスの改善に取り組むとともに、省エネ・創エネに関するニーズに応える製品を提供することで、環境・エネルギー問題の解決に貢献し、持続可能な社会の構築を目指します。

注1 2020年におけるAGCグループの年間CO₂排出量（想定）

注2 2020年に生産した省エネ・創エネ関連製品が耐用年数まで使用された場合のCO₂削減量

注3 一世帯当たりの家庭からの年間CO₂排出量は約5トン（2011年度）

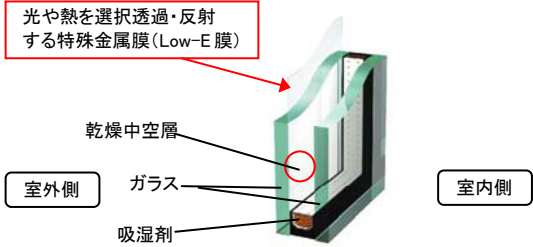
出典：温室効果ガスインベントリオフィス

以上

◎本件に関するお問い合わせ先 **AGC** 旭硝子(株) 広報・IR室長 小林 純一
(担当：富屋 TEL: 03-3218-5603 Email: info-pr@agc.com)

(参考資料) AGCグループの省エネ・創エネ製品例

エコガラス (低放射複層ガラス)



空気層、特殊金属膜による断熱・遮熱効果が冷暖房効率を高め、ライフサイクルにおけるCO₂排出量を従来品に比べ約8~9倍削減^{※1}

ATTOCH[®] アトッチ[®] (現場施工型後付 Low-E ガラス)



ビル窓リフォーム用ガラス。既存ガラスに Low-E ガラスを貼りつけることで、Low-E ペアガラスと同等の性能を発揮。年間エネルギー削減率 32.4%^{※2}

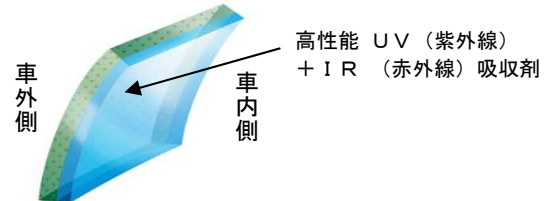
Light JouleTM (ライトジュールTM) (超軽量ソーラーパネル)



化学強化特殊ガラス Leoflex[®]により、パネル重量が従来品の約半分と軽量であり、設置のための補強工事が不要。設置コストの削減、設置場所の広がりにも貢献。

UVベールPremium[®] Coolon

(自動車のフロントドア用 IR&UV カット強化ガラス)



日焼けの原因となる紫外線をカットしながら、暑さやジリジリ感の原因となる赤外線も抑え、不快感を解消し、弱めのエアコン設定でも快適さを保持。

地球温暖化への影響を抑える新冷媒

「1234yf」

地球温暖化係数が従来品^{※3}1,300分の1と極めて低い環境負荷の自動車用冷媒

「AMOLEATM」

従来品^{※4}と同等の性能をもちながら、地球温暖化係数を6分の1に抑えた空調機器用新冷媒

フレミオン[®] (フッ素系イオン交換膜)



苛性ソーダの生産工程で使われる、フッ素系イオン交換膜。従来の水銀法に比べエネルギー使用量を約40%削減。消費電力のさらに少ないタイプ「フレミオン[®] F-8080」も販売。

タフクーレ[®] (遮熱性舗装用セラミックス材料)



道路の遮熱性舗装塗料用セラミックス顔料。非常に硬く強いので遮熱性舗装の耐摩耗性を格段に向上させる。路面温度を約10度低減、ヒートアイランド現象の緩和に貢献。

※1: 1枚ガラスと比較した場合

※2: ガラス6ミリ+アトッチ5ミリの場合。
また、削減率は建物条件により異なる。

※3: 自動車用冷媒 134a との比較

※4: 空調用冷媒 HFC-410A との比較。